

ラインやポリゴンの一部を削除する



ジオツールボックスは、スケッチや計測、選択、リージョンの作成などを行う統合環境を提供します。これら4つの操作はジオツールボックス内でシームレスに切り替えることができます。描画したスケッチ要素（エレメント）の計測や、計測に使った要素をスケッチに追加するといったことができます。元々計測のために描かれた閉図形やスケッチの一部をリージョンに変換し、ジオツールボックスを使って選択に使用することができます。

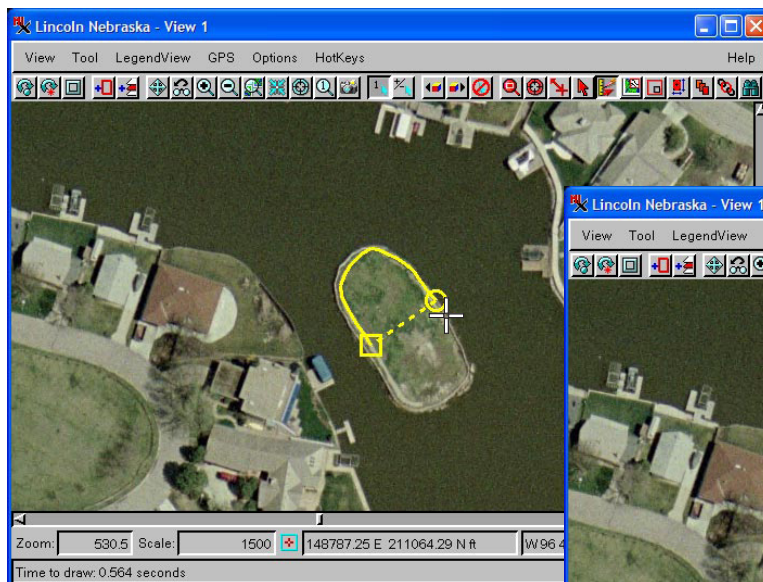
ラインとポリゴンツールは、マウスのどのボタンを押すかや、タブレットでスタイラスペンの反対側を使うことによって描画と削除を切り替えられます。クリックするボタンを左ボタンから中央ボタンに変えると、ジオツールボックスのコントロールパネルで設定を変更せずに、描画から削除に切り替えることができます。このような簡単操作で描画と削除がいたも容易に切り替わります。

描画をする時のカーソルは中央が開いている十字のクロスヘアで、クリックする場所の真下のピクセルを見ることができます。クロスヘアは白く、黒い輪郭があるためどのような背景でもはっきり見えます。削除をする

時のカーソルは円で、同じく白と黒が使われています。

削除機能は、ラインやポリゴンを描画する際に開始点の追加、終点の追加、中間点の挿入をする時のみアクティブになります。ラインの最初や最後の中間点は、選択されている追加の操作方法にもよりますが、ラインの開始点や終端の近くで削除機能を使って消します。[中間点の挿入 (Insert Vertex)] 操作がジオツールボックスのコントロールパネルで選択されている場合に削除機能を使うと、ライン上で最も近い中間点が削除されます。削除方式はラインを描くモードと同じです。描画モード (Draw) を使用している場合は、クリックおよびドラッグをしてラインを削除します。ストレッチ (Stretch) モードを使用している場合、削除したい中間点の近くでクリックします。追加操作用に選択したラインやポリゴンの終端の近くをクリックするというのを覚えておいてください。ジオツールボックスのコントロールパネルで操作を変更せずに、ラインの始点・終点の削除から、途中の中間点の削除に切り替えることはできません。

ラインやポリゴンの描画を再開するには、クリックするボタンを左ボタンに切り替えるか、スタイラスペンの反対側を使用してください。削除機能を持ったスタイラスペンの付いているタブレットでは、削除機能を中央ボタンに設定するか、2のボタンに設定してください。



使用するマウスボタンを変えたり、スタイラスペンをひっくり返すことにより描画と削除を簡単に切り替えることができます。上図のラインはストレッチモードで描かれたもので、右図ではマウスの中央ボタンを何回かクリックしてラインの一部が削除されています。

